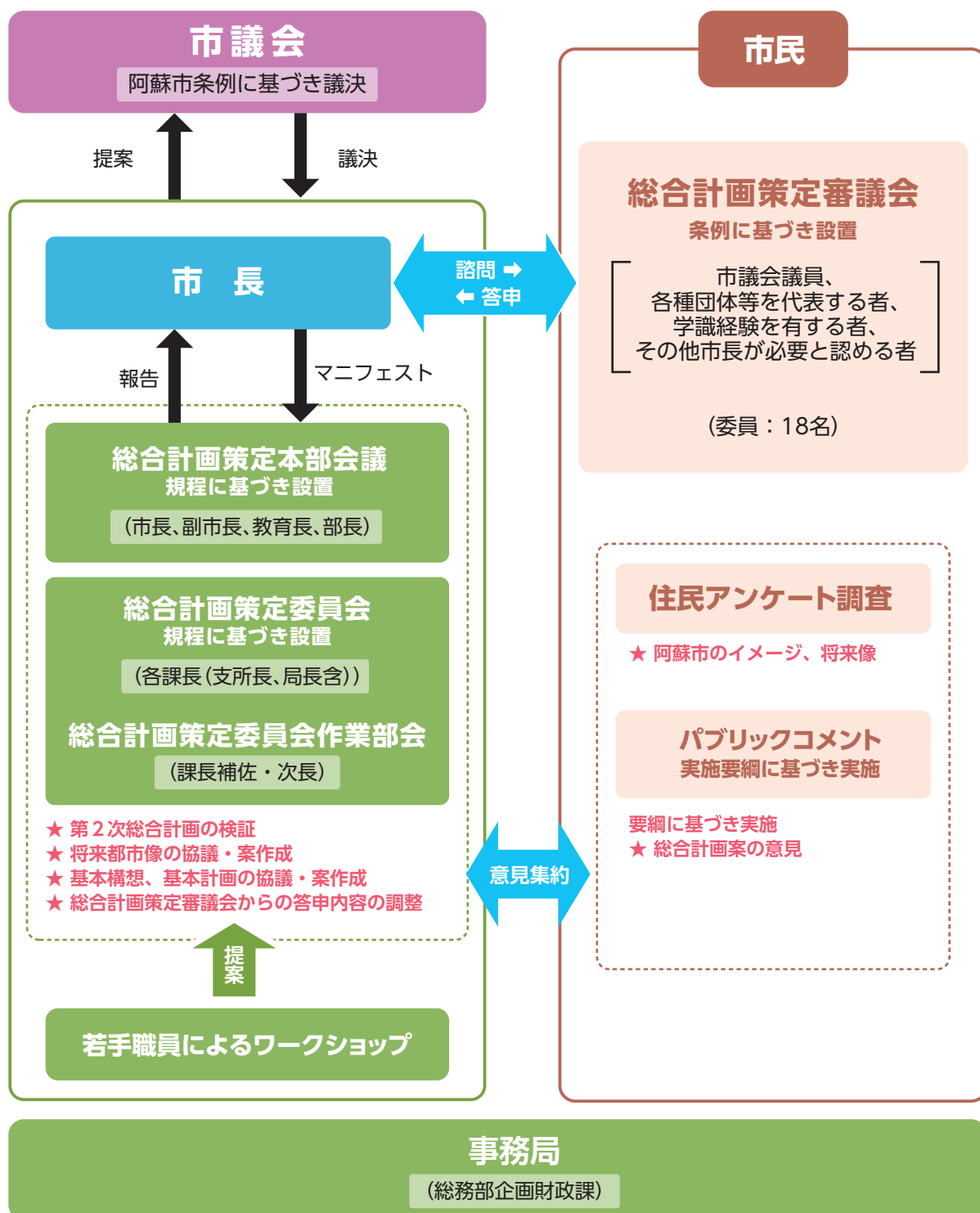


卷 | 末 | 資 | 料

1. 計画策定経過

期 間	項 目
令和6年8月19日	部長会議
令和6年8月27日	部課長会議
令和6年9月9日	第1回総合計画策定本部会議
令和6年9月20日	第1回総合計画策定委員会
令和6年9月30日	第1回総合計画策定審議会
令和6年10月10日～ 10月31日	中高生アンケート調査
令和6年10月10日～ 11月28日	市民アンケート調査
令和6年11月25日	部課長会議
令和6年12月18日	若手職員ワークショップ
令和7年2月25日	部課長会議
令和7年3月12日	第1回作業部会
令和7年4月7日	部長会議
令和7年4月17日	第2回作業部会
令和7年4月28日	第2回総合計画策定審議会
令和7年5月26日	部課長会議
令和7年6月20日	第3回総合計画策定審議会
令和7年6月30日	第2回総合計画策定本部会議
令和7年7月4日 ～24日	総合計画（素案）のパブリックコメントの実施
令和7年7月25日	第2回総合計画策定委員会
令和7年8月4日	第3回総合計画策定本部会議
令和7年8月12日	第4回総合計画策定審議会
令和7年8月18日	総合計画策定審議会からの第3次阿蘇市総合計画（基本構想・前期基本計画）の答申
令和7年9月1日	阿蘇市議会にて議決

2. 策定体制



3. 策定審議会委員

区分	団 体	役 職	氏 名	備 考
議 会	阿蘇市議会 総務常任委員会	委員長	園田 浩文	会長
	阿蘇市議会 文教厚生常任委員会	委員長	立石 昭夫	
	阿蘇市議会 経済建設常任委員会	委員長	児玉 正孝	
市 民	阿蘇市区長会	会長	市原 巧	令和6年度
			小坂 秀典	令和7年度
		副会長	池田 國廣	令和6年度
			黒川 史昭	令和7年度
	阿蘇市女性団体連絡協議会	副会長	城 輝臣	
産 業	阿蘇市女性団体連絡協議会	会長	神保 京子	
	阿蘇市商工会	会長	杉本 素一	副会長
	阿蘇市観光協会	会長	永田 祐介	
	阿蘇農業協同組合	代表理事組合長	原山 寅雄	
教 育	阿蘇森林組合	代表理事組合長	河津 宗範	
	阿蘇市校長会	会長	石本 明史	令和6年度
	阿蘇市人権・同和教育推進協議会就学前部会	部会長	栗原 邦広	令和7年度
			堀田 周一	
金 融	阿蘇市 PTA 連絡協議会	家庭部長	井 愛子	令和6年度
			詫間 浩司	令和7年度
	肥後銀行	阿蘇ブロック長 兼宮地支店長	加倉井 秀帆	令和6年度
			横山 輝	令和7年度
行 政	熊本労働局阿蘇公共職業安定所	所長	作田 和人	令和6年度
			渡邊 誠	令和7年度
	熊本県阿蘇地域振興局	局長	永松 浩史	
	阿蘇市総務部	部長	高木 洋	令和6年度
			古閑 茂雄	令和7年度
その他	日本電気株式会社スマートシティ統括部	ディレクター	平尾 啓二	
		主任	眞武 詳	令和6年度

4. 諮問書

阿市企財第767号
令和6年9月30日

阿蘇市総合計画策定審議会会長 様

阿蘇市長 佐藤 義興

第3次阿蘇市総合計画について(諮問)

阿蘇市総合計画策定審議会条例第2条に基づき、第3次阿蘇市総合計画基本構想及び前期基本計画について、貴審議会の意見を求めます。



諮 問

5. 答申書

令和7年8月18日

阿蘇市長 松嶋 和子 様

第3次阿蘇市総合計画策定審議会

会長

園田 浩文

第3次阿蘇市総合計画(基本構想・前期基本計画)について(答申)

令和6年9月30日付け阿市企財第767号で諮問のありました第3次阿蘇市総合計画(基本構想・前期基本計画)(案)につきまして、慎重に審議した結果、別添のとおり取りまとめましたので、ここに答申します。

なお、計画の推進にあたっては、中高生を含む市民アンケート調査及びパブリックコメント等を踏まえた本審議会での審議過程など市民の声を尊重するとともに、特に下記事項に留意され、その実現に努められますよう要望します。

記

- 1 本計画の推進にあたっては、広く市民に周知を図り、市民との協働で取り組むまちづくりを進めるとともに、前期基本計画で定めた施策の成果指標により、市民にも分かりやすい適切な進捗管理に努められたい。
- 2 横断的な取組や基本目標に掲げるまちづくりについては、地域の特色や課題を的確に捉え、関係主体が連携して推進することにより、地域産業の振興や地域活性化につなげられたい。
- 3 子育て支援の充実に関しては、若年層の定住促進や安心して子育てができるようきめ細やかな支援策を講ずるとともに、幅広い世代への移住施策を通じて、少子化対策と地域の持続性の向上に取り組まれたい。
- 4 外国人の労働者等の円滑な受入促進に向け、日本語支援など生活サポート及び環境整備に努められ、多文化共生の推進に取り組まれたい。
- 5 企業誘致にあたっては、半導体関連企業など周辺地域の動向を確実に捉えながら、阿蘇地域の環境や景観に適した有効な誘致活動に重点的に取り組まれ、雇用創出につなげられたい。



答 申

6. 市民アンケート結果

(1) 市民意識調査の結果

第3次阿蘇市総合計画等の策定に向けた基礎資料とするため、令和6年(2024年)10月に市民アンケート調査を実施しました。この調査結果をもとに、総合計画の策定において特に留意すべき点を整理しました。

調査名：第3次阿蘇市総合計画及び第3期阿蘇市総合戦略策定のための市民アンケート調査

調査対象：住民基本台帳から無作為に抽出した市民3,000人

調査期間：令和6年(2024年)10月10日(木)～11月28日(木)

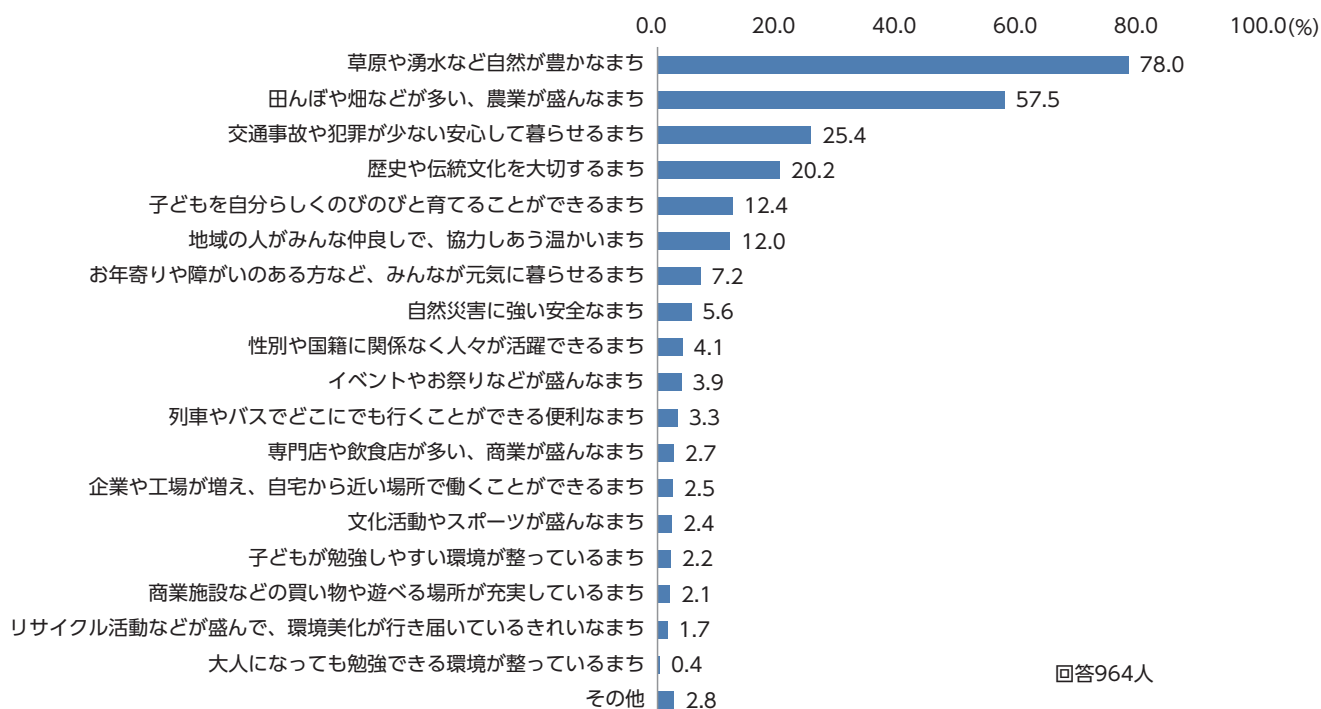
調査方法：郵送及びインターネット(WEBアンケート「LoGoフォーム」)

回収数：1,002人(内訳 郵送812人、WEB 190人 回答率33.4%)

①本市のイメージについて

本市のイメージについて尋ねたところ、「草原や湧水など自然が豊かなまち」が78.0%と最も高く、次いで「田んぼや畑が多い、農業が盛んなまち」が57.5%、「交通事故や犯罪が少ない安心して暮らせるまち」が25.4%となっています。

あなたは、阿蘇市にどのようなイメージをお持ちですか？

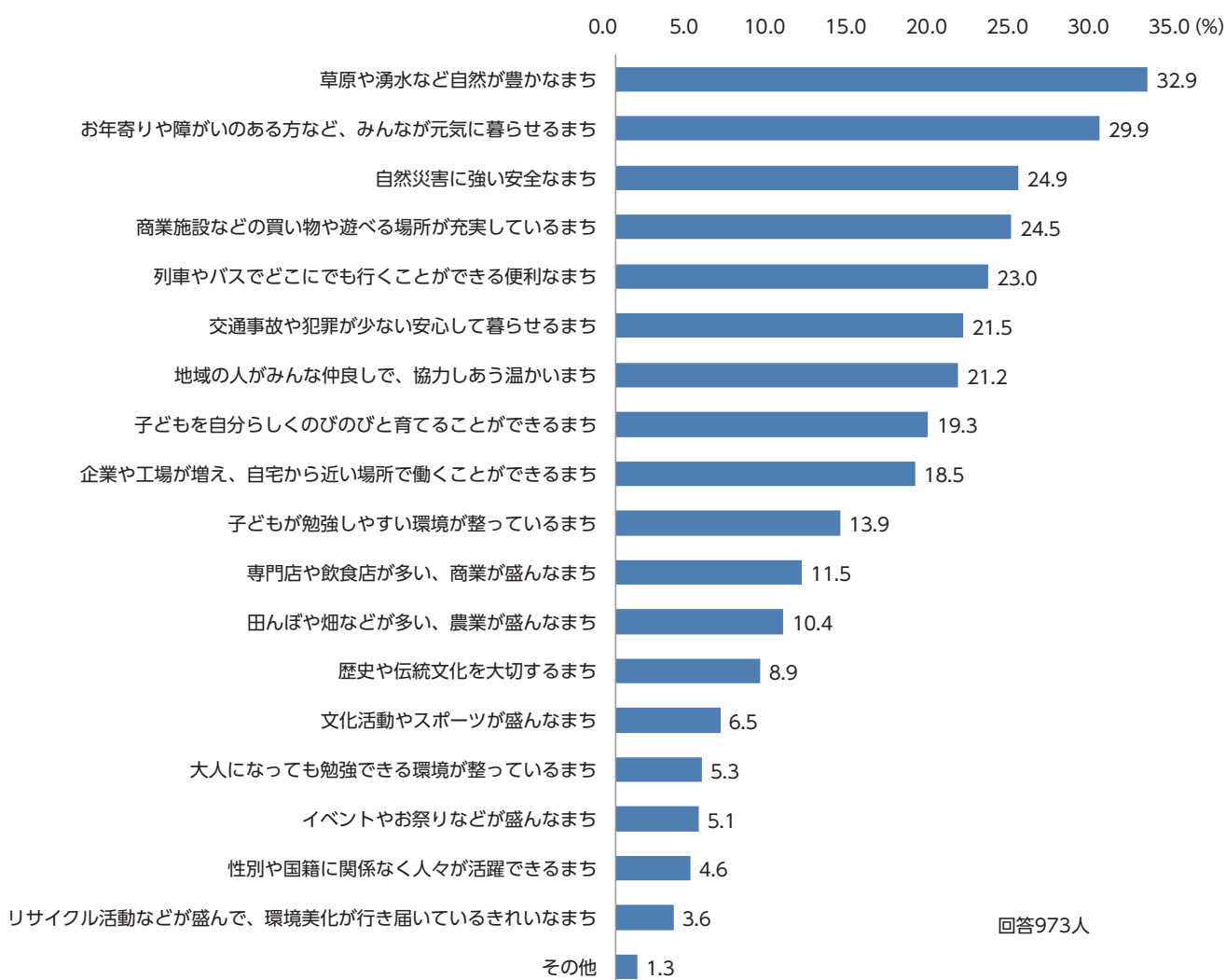


②市民が求める将来像について

市民が求める本市の将来像は、「草原や湧水など自然が豊かなまち」が32.9%、次いで「お年寄りや障がいのある方など、みんなが元気に暮らせるまち」の29.9%、「自然災害に強い安全なまち」が24.9%となっています。

前頁①では「お年寄りや障がいのある方など、みんなが元気に暮らせるまち」は7.2%と上から7番目のイメージとなっており、市民が求める将来像と現状のイメージとのギャップが見られます。

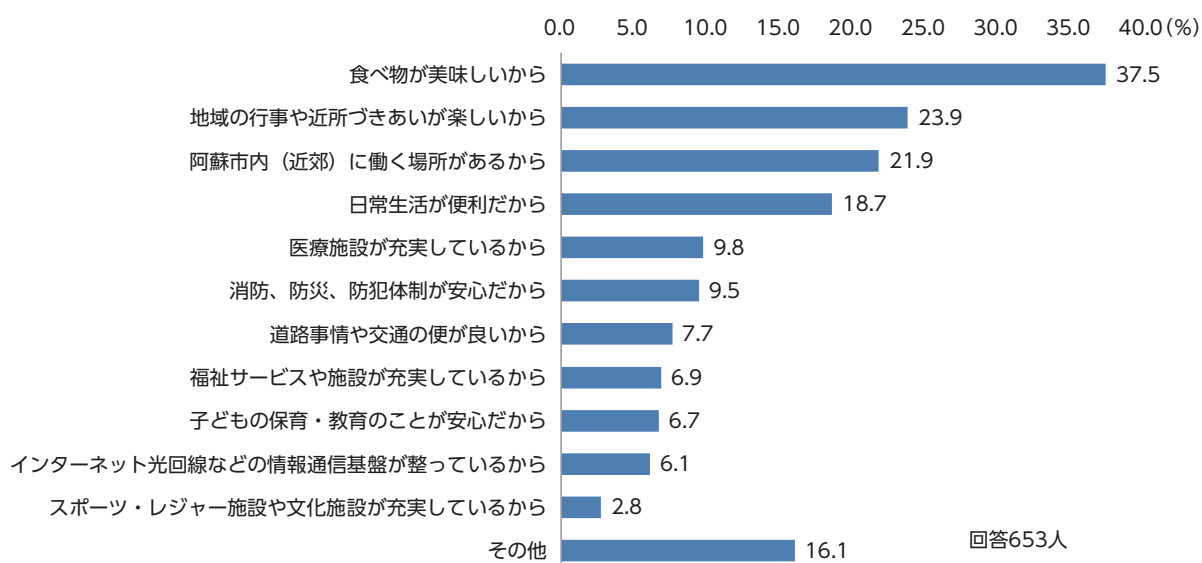
あなたは、今後の阿蘇市をどのようなまちにしたいですか？



③本市に住み続けたい、住み続けたくない理由

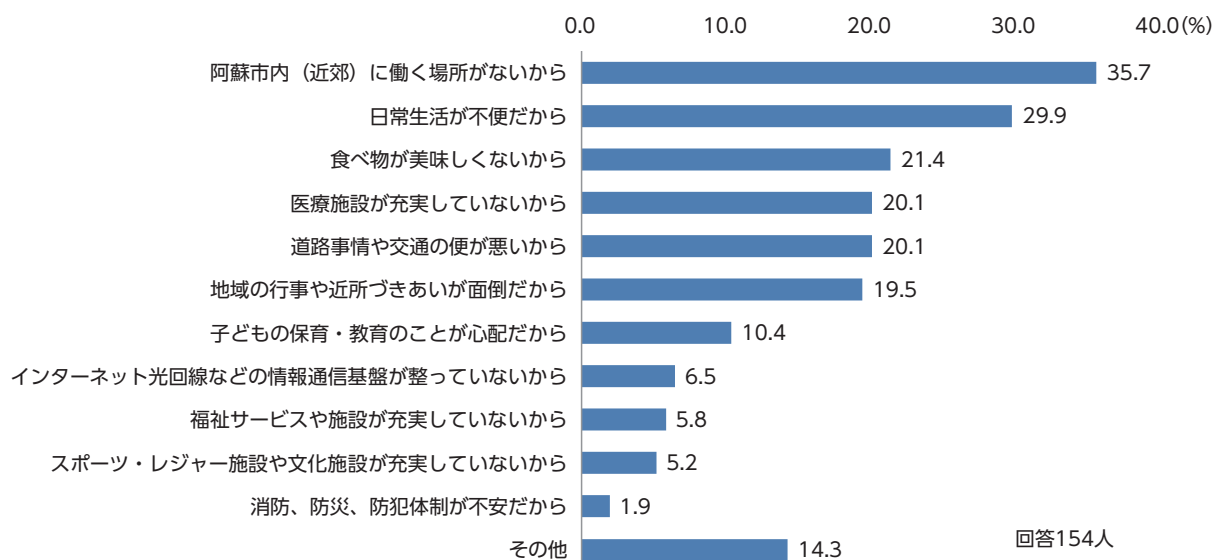
本市に住み続けたい理由について見ると、「食べ物が美味しいから」が37.5%と最も高く、次いで「地域の行事や近所づきあいが楽しいから」が23.9%、となっています。

(本市に「住み続けたい」と回答した市民に対して) それはなぜですか？



本市に住み続けたくない理由について見ると、「阿蘇市内(近郊)に働く場所がないから」が35.7%と最も高く、次いで「日常生活が不便だから」が29.9%となっています。

(本市に「住み続けたくない」と回答した市民に対して) それはなぜですか？



(2) 高校生アンケート調査結果

市民アンケートと並行して高校3年生を対象としたアンケートも実施しました。

調査名：阿蘇市のまちづくりについての高校生アンケート調査

調査対象：阿蘇中央高校の3年生 計103人

調査期間：令和6年(2024年)10月10日(木)～10月31日(木)

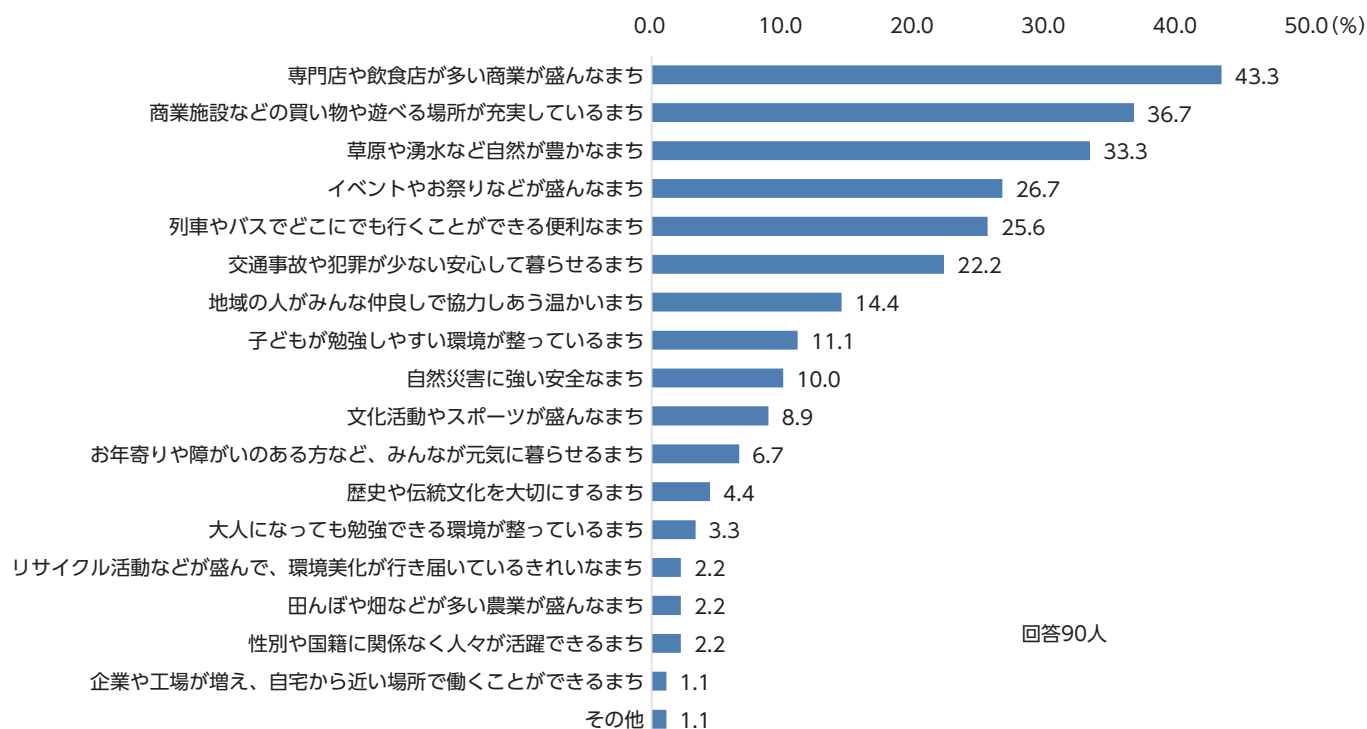
調査方法：インターネット(WEBアンケート「LoGoフォーム」)

回収数：回答数90人 回答率87.3%

①10年後住んでみたいと思うまちの姿

10年後住んでみたいと思うまちの姿について見ると、「専門店や飲食店が多い商業が盛んなまち」が43.3%と最も高く、次いで「商業施設などの買い物や遊べる場所が充実しているまち」が36.7%、「草原や湧水など自然が豊かなまち」が33.3%となっています。

あなたが「10年後住んでみたいと思うまちの姿」を選んでください



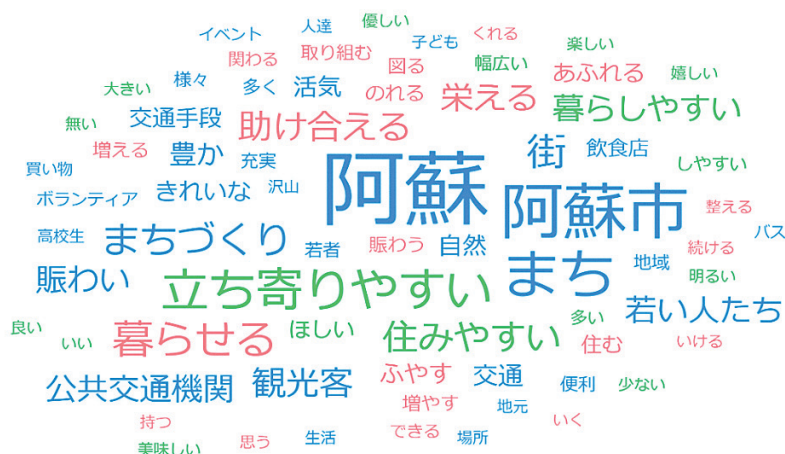
②本市に求める将来像について

自由記述形式で回答があったものを使いテキストマイニングを行いました。テキストマイニングとは、自然言語処理の技術を用いて、自由記述のテキストから有用な情報を抽出する分析手法です。AIが特徴のある単語を選び出し、その重要度に応じた大きさで図示しています。単語の色は青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を表しています。

高校生の回答では「暮らしやすい」「住みやすい」「助け合える」のような、具体的に将来本市に定住し続ける上でのイメージが記載されている傾向があります。

また、観光客の方に「立ち寄ってほしい」「賑わう」「栄える」など活気や賑わいを求める傾向が伺えます。

阿蘇市をどのようなまちにしたいですか？
まちづくりに関して、夢や希望を自由に記入してください



自由回答（一部抜粋）

イベントが多いまちにしたい。多いことで高校生がたくさんボランティアに参加でき、地域貢献ができるし、ボランティアでたくさんのかたを身につけることができるから。

たくさんの観光客が日帰りではなく、宿泊客が増えるようにしてほしい。

もっとみんなが老若男女、国籍問わず住んで良かったと思えるまちづくりにしたい。

阿蘇市の良いところをたくさんの人達に届け、多くの人達が阿蘇に興味を持ち、阿蘇に住んでくれる人たちが一人でも多くなってほしいなと思います。

安心安全で飲食店やショッピングモールなどのある賑やかな街にしたいです。

交通が整備されたたくさんの観光客で賑わうまちづくり。

子どもが自然に触れながら高校生になっても楽しく暮らせるような街にしたい。

車を持っていない人でも自由に行動できるように、公共交通機関を更に充実させてほしい。住み続けたいと思うことができるように、商業施設や医療機関などを拡充してほしい。

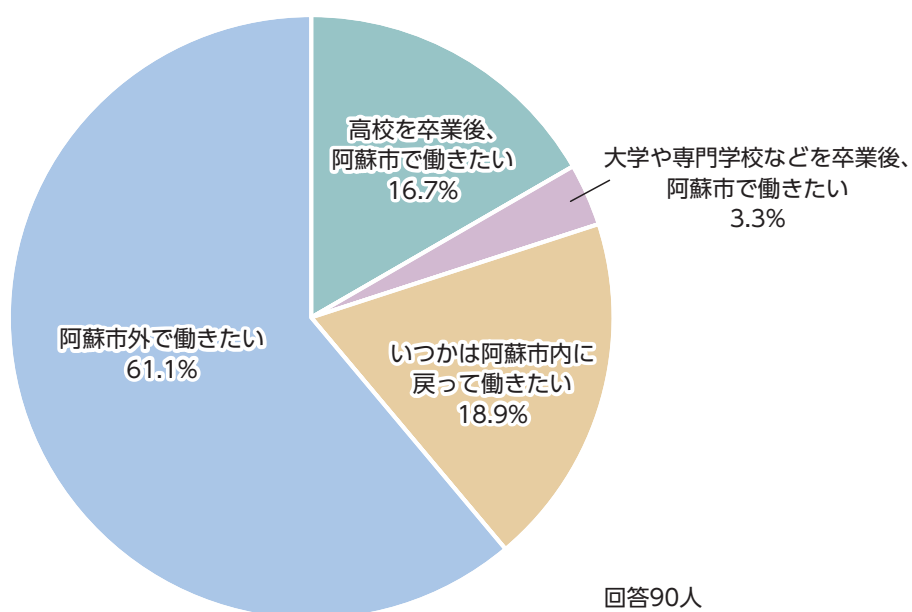
僕は自然豊かな阿蘇が好きなので、このままの水が美味しくて緑いっぱいの阿蘇を維持し続けてほしいです。

③進路先と居住先の意向

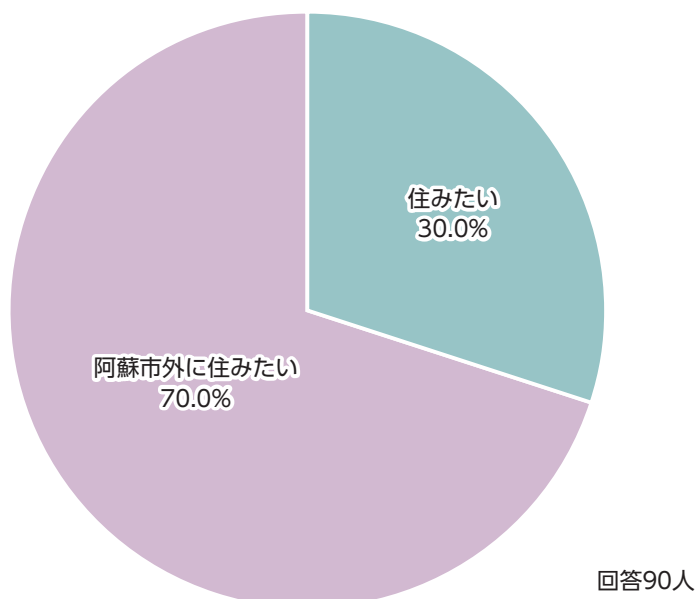
高校生の進路意向について見ると、61.1%と過半数以上が「阿蘇市外で働きたい」と回答しており、次いで「いつかは阿蘇市内に戻って働きたい」が18.9%となっています。

また、居留意向について見ると「阿蘇市外に住みたい」が70.0%と高い割合を占めています。

将来、あなたは阿蘇市で働きたいですか？



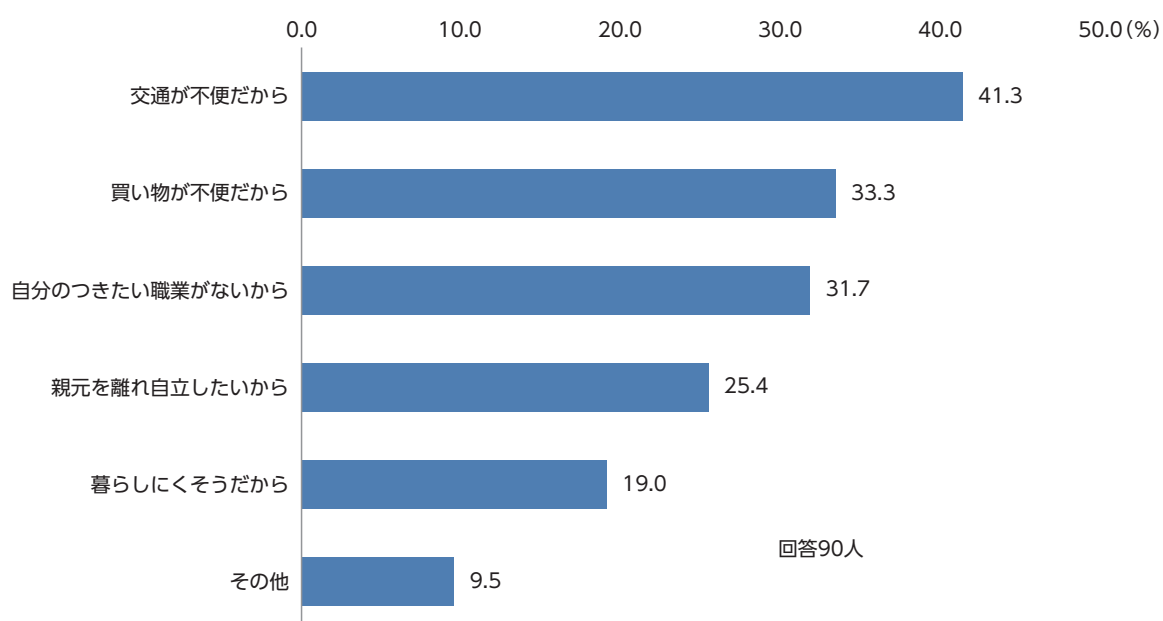
将来、あなたは阿蘇市に住みたいですか？



④本市に住みたくない理由について

住みたくない理由について見ると、「交通が不便だから」が41.3%と最も高く、次いで「買い物が不便だから」が33.3%、「自分のつきたい職業がないから」が31.7%となっています。

（「阿蘇市外に住みたい」と答えた方に対して）その理由は何ですか？



(3)中学生アンケート調査結果

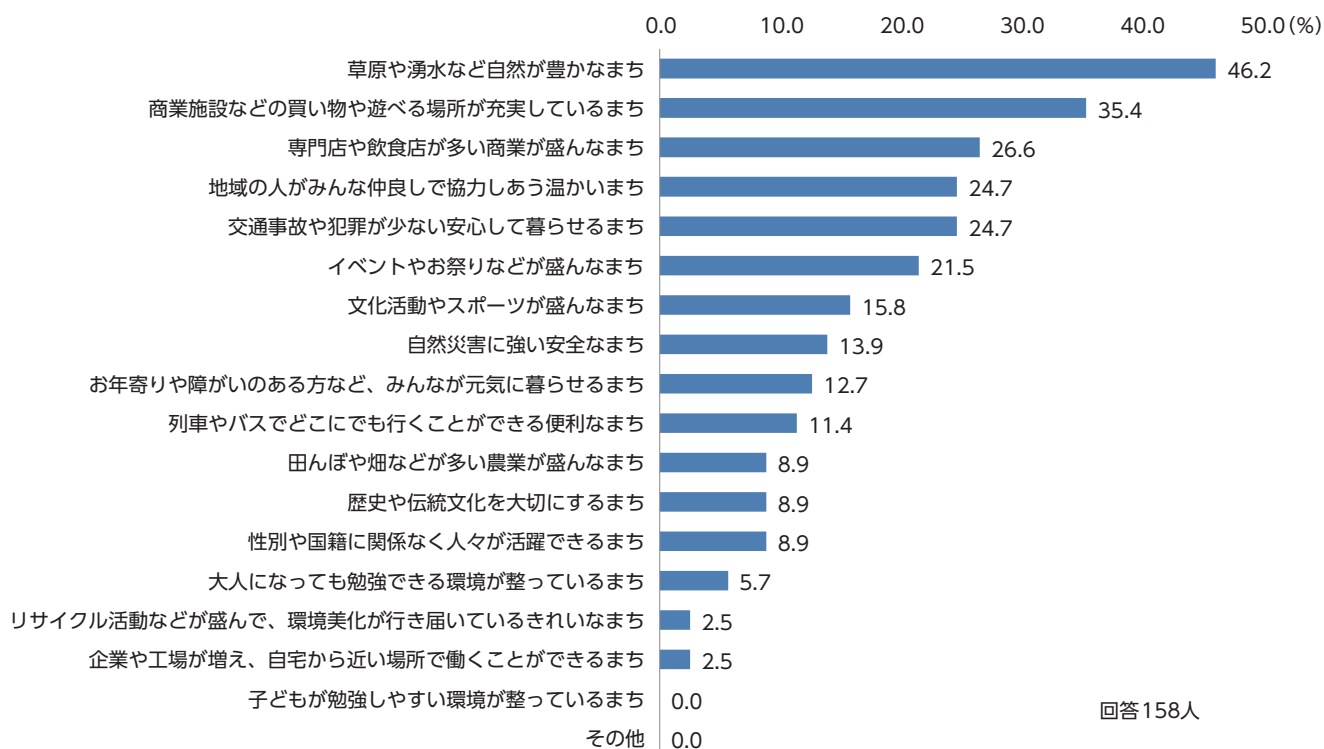
高校生に加え、中学3年生を対象としたアンケートも行い、未来を担う子ども世代の意見を聴取しました。

調査名：阿蘇市のまちづくりについての中学生アンケート調査
調査対象：一の宮中学校、阿蘇中学校、波野中学校の3年生 計183人
調査期間：令和6(2024)年10月10日(木)～10月31日(木)
調査方法：インターネット(WEBアンケート「LoGoフォーム」)
回収数：158人 回答率86.3%

①10年後住んでみたいと思うまちの姿

10年後住んでみたいと思うまちの姿について見ると、「草原や湧水など自然が豊かなまち」が46.2%と最も高く、次いで「商業施設などの買い物や遊べる場所が充実しているまち」が35.4%、「専門店や飲食店が多い商業が盛んなまち」が26.6%となっています。

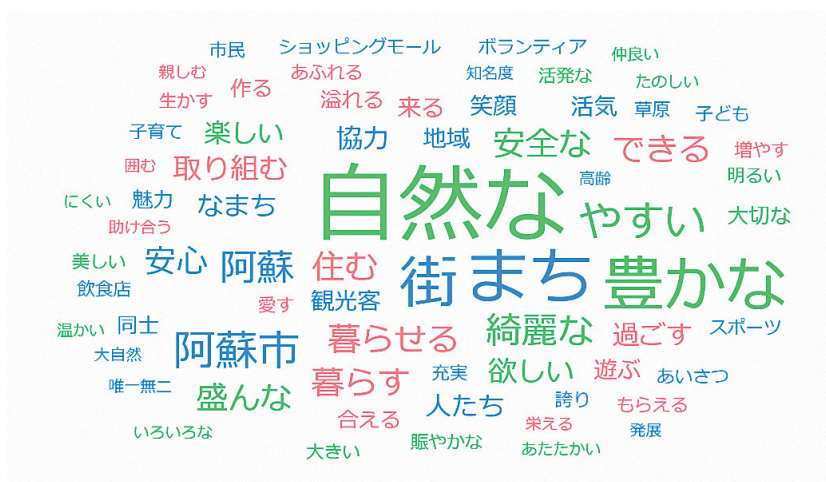
あなたが「10年後住んでみたいと思うまちの姿」を選んでください



②本市に求める将来像について

最も特徴的だったのは「自然」であり、本市の豊かな自然を残し、綺麗で安全なまちにしたい、という傾向が見られます。

阿蘇市をどのようなまちにしたいですか？
まちづくりに関して、夢や希望を自由に記入してください



自由回答（一部抜粋）

「阿蘇市はいいところだ」といってるところから言われるようなまちにしたい。（知名度をもっと上げたい）

みんなが安全で暮らしやすい街にしたい。

もっとスポーツが盛んな街にしたい。

阿蘇の自然は残しつつ、もう少し発展してほしい。

安心安全で飲食店やショッピングモールなどのある賑やかな街にしたいです。

観光客が来る自然豊かなまち。

熊本といえば阿蘇！となるような素敵な阿蘇にしたいです。

市外から阿蘇に興味を持って移住したくなるような魅力的なまちにしたい。

笑顔で溢れて緊急事態の時でも協力できるような街にしたい。

誰もが住みやすい自然豊かなまちにしたい。

地域の人たちと良い関係があるまち。

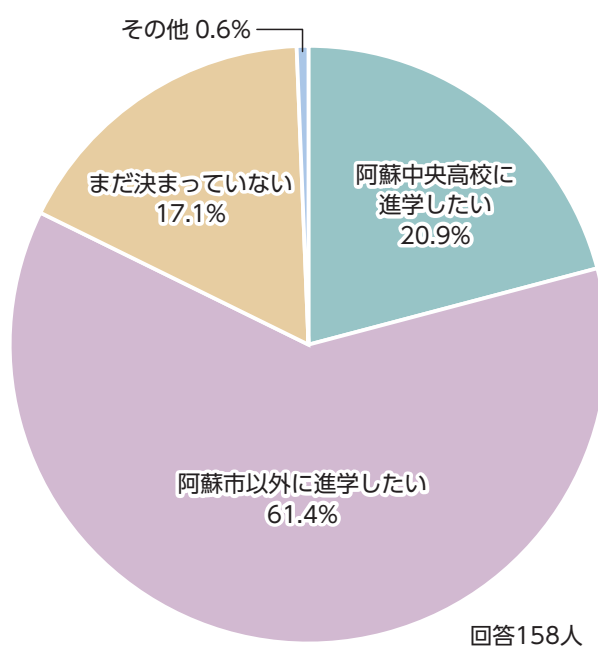
湧水や草原などの自然を維持して、文化や交流が活発な街にしたい。

③進路意向と居住意向

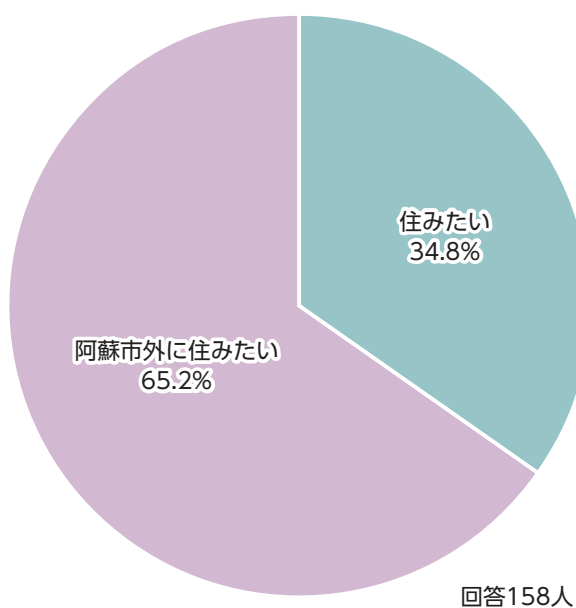
中学生の進路意向について見ると、20.9%が「阿蘇中央高校に進学したい」と回答しているのに対し、過半数が「阿蘇市以外に進学したい」と回答しています。

また、将来の居住意向については、「住みたい」が34.8%、「阿蘇市以外に住みたい」が65.2%となっています。

卒業後の進路についてお尋ねします



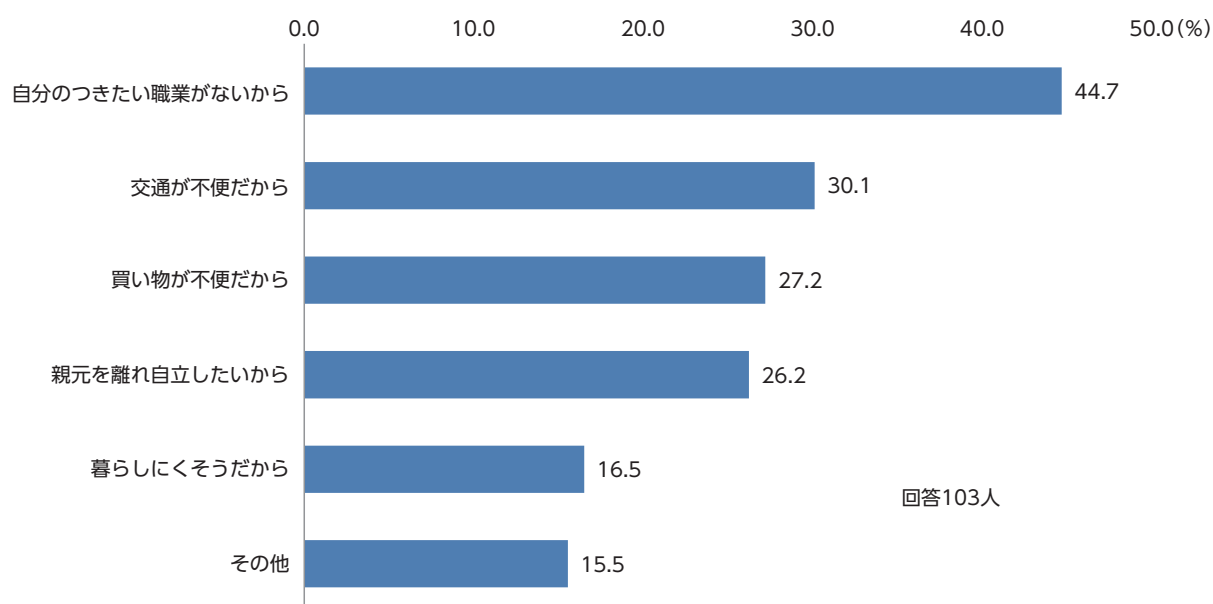
将来、あなたは阿蘇市に住みたいですか？



④本市に住みたくない理由について

①「10年後住んでみたいと思うまちの姿」では、働く場や交通の便についての言及は少なかったものの、住みたくない理由については、「自分のつきたい職業がないから」が44.7%と最も高く、次いで「交通が不便だから」が30.1%と「買い物が不便だから」が27.2%となっています。

（「阿蘇市外に住みたい」と答えた方のみ）その理由は何ですか？



(4) アンケート結果全体の総括

① 市民アンケート結果

現状の満足度が高かった項目は「安全な生活用水の提供」となっています。一方で、満足度の低かった項目は「魅力的な働く場」「バスや乗合タクシーなどの公共交通が利用しやすい」となっています。今後の重要性について尋ねた質問でも、「魅力的な働く場」「バスや乗合タクシーなどの公共交通が利用しやすい」への回答が多く、市民が重視する項目と不満を持つ項目には関連性があります。

② 中高生アンケート結果

中学生においては、進学や職業選択の選択肢が限られていることが阿蘇市外への転出意向の理由となっています。自然の豊かさや景観などを維持しつつ、その魅力を中学生に伝えていくこと、さらには学習や職業の選択肢を充実させる施策を講じることが、今後の課題として重要です。

高校生においては、進路選択や生活利便性に関する課題が、阿蘇市外への進学・就職意向に影響を与えていると考えられます。交通インフラや商業施設の充実を図るとともに、地域内での進学や職業選択肢の拡大が、今後の定住促進に向けた重要な課題です。

7. 庁内意見の集約

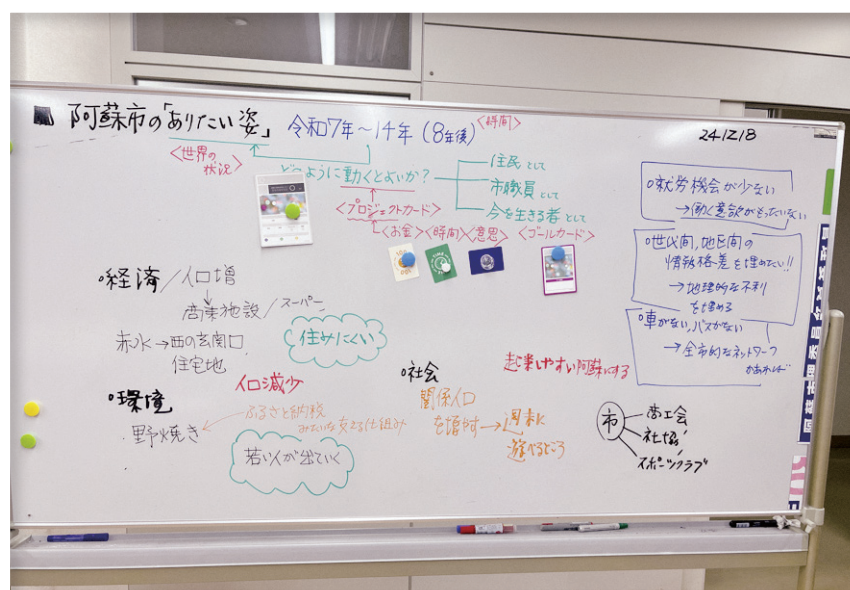
第3次総合計画の策定にあたり、今後のまちづくりを担う若者世代の率直な意見を取り入れるため、若手市職員を対象としたワークショップを開催しました。

13人の若手市職員が参加し、「8年後の阿蘇市のありたい姿」をテーマとして、意見の交換を行いました。

《《 8年後の阿蘇市のありたい姿 》》

阿蘇市若手職員向けワークショップ～8年後の阿蘇市を考える～ での意見のまとめ

令和6年(2024年)12月18日(水) 15:00～17:00



阿蘇市若手職員向けワークショップ ～8年後の阿蘇市を考える～ での意見のまとめ

令和6年(2024年)12月18日(水) 15:00～17:00

「経済」、「環境」、「社会」の3つのテーマに分けて議論し、とりまとめた意見や提案等の一部を紹介しています。

	経 済	環 境	社 会
阿蘇市の「ありたい姿」は	阿蘇市の「ありたい姿」は 若い人が残るまち	阿蘇市の「ありたい姿」は 企業誘致で人が増えること 環境と雇用が一体化したような ものになるのが理想	阿蘇市の「ありたい姿」は 働く場所、雇用がある
「ありたい姿」 実現のための 課題	- 若い人が残らないのは、高校が一つしかないことが大きい。 - 若い人が残るための働く場が少ない。阿蘇市の産業は第1次と3次産業が中心。 - 交通の利便性は悪いと思う。鉄道はこれ以上本数が増えることはないだろう。 - 昼も夜も食事できる住民向けの店がたりない。宿泊施設も不足。 - 一方で、田畑を潰していくわけにはいかない。 - 単に都市化を進めるのでは中途半端になる。 - 周辺市町村とまちづくりの在り方を住み分ける。	- 企業誘致はエリアによって反対が想定される。 - 大津まで出ないと用が済まないから人が出て行ってしまう。 - 住みやすい街ではない。 - 観光、移住定住に注力してきたので移住者は増えている。 8年後は人口2万人を切る。草原維持の担い手が不足し、現状維持さえ難しい。隣り合う牧野組合が協力しないとやっていけない。	- TSMCができたことでも周辺の居住地になれていない。 - 戻ってくる世代が何を魅力に戻ってくるかが重要。 - 他の自治体にはないものは景観。景観を守りつつ、どう活用していくか。 - 情報に関する世代間・地域間格差の解消が必要。 - 生活保護は高齢者の方が多い、就労意欲はあるが就労機会が少ない。 - 病院や買い物に行く交通手段がないという話もある。(波野地区に限定されている福祉バスを広げられないか)
「ありたい姿」 実現のための アイデア	- 市の西側、赤水地区辺りに人を集められないか。 - 余っている宅地を整備できないか。 - 西側にスーパーなど大型の商業施設を。 - 創業支援よりも雇用を生む大きな工場が欲しい。(工場を誘致するとしたら、57号線、北側ルートだけでは足りない。)	- 環境がよくなるための雇用があれば阿蘇に住むインセンティブになる。そんなシステムがあるといい。 - 世界文化遺産登録、世界最大級のカルデラの中に住むという付加価値を活かしていく。 - 何もないじゃなく、田んぼがあるという考え方をしていく。 - 人口を増やすなら赤水や車帰をベッドタウン化する。北側復旧バイパスを起点として、企業と協力してできないか。 - 野焼きについては、「環境共生基金」の活用や「ふるさと納税の返礼品」など、支える仕組みを考える。	- 阿蘇が充実すると若い世代は戻ってくる。身近な保養地として関係人口を増やすこともできる。観光を先導する会社があると雇用の場はできる。 - ワーケーションの受け入れはいいと思う。 - 地理的な不利を埋めるリモートでの就労機会などを増やす。 - 就労意欲がある人と人手不足の事業者とのマッチングの仕組みができればよい。 - 保育園が充実していれば、自然で遊ばせたいと移住してくる人はいらと思う。教育の充実も必要。 - 空き家バンクは継続していくべき。

「ありたい姿」実現のために庁内や地域事業者、市民と協働で動いていくために

① 庁内の情報共有のための横の連携づくり

- 各課がやっていることが見えづらい。その共有からだと思う。
- 課同士の横の連携をつくり、各課で抱える課題を共有したほうが良いと思う。

② 課題の共有と外部の意見を取り入れるための場づくり

- 問題の洗い出しが必要。
- 課題を拾い上げる場をつくと良いのでは。
- 課題を共有して外部の意見を取入れて考えていくことが必要。
- 民間の関係組織も含め全体として取り組む。
- 商工会などの外部職員と課題を共有するとよいのではないか。阿蘇市で働く人、住んでいる人の声を聴くことが重要。

8. SDGsと主要施策の対応表

実施施策	主要施策	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
1-1 農業の振興	多様な農業の担い手が活躍できる環境の整備							
	安定した農業経営の確立							
1-2 畜産業の振興	畜産業の収益向上							
	環境に配慮した農業の推進							
1-3 林業の振興	クロスコンプライアンスに対応した森林整備の促進							
	森林環境譲与税を活用した森林整備・林業担い手の確保・木材活用の推進							
1-4 農地の保護	更新基盤整備の促進							
	担い手への農地集積・集約化							
	耕作放棄地の解消・抑制							
1-5 世界に選ばれる観光地づくり	滞在交流型観光の創出							
	戦略的プロモーション及び誘致活動の推進							
	観光資源の磨き上げと保全							
	サステナブル・ツーリズムの推進							
	阿蘇山上観光の上質化							
1-6 活気ある街並みにぎわいの創出	商工業の振興・雇用創出							
	ふるさと納税制度の利用拡大と推進							
	地域づくりの充実							
	スポーツコミッションによる経済波及効果拡大							

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									

実施施策	主要施策	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
2-1 多様な学びの場の提供と歴史文化の振興	生きがいと潤いのある社会教育の振興							
	郷土の誇りと愛着のある歴史・文化の振興							
	世界文化遺産登録推進							
2-2 子どもを産み育てやすい環境づくり	妊娠期からの生活習慣病予防対策							
	健やかな子どもの育ち							
	子育て世帯の育児支援							
	子どもの居場所整備							
	情報発信の充実							
2-3 子どもの自主性を育む教育環境づくり	生きる力を育む学校教育の推進							
	児童・生徒主体の学びづくり							
3-1 生涯スポーツ・運動の推進	健康と体力づくりを目指す生涯スポーツの振興							
	有効的な施設の活用							
3-2 人権尊重のまちづくり	人権・同和教育の啓発及び推進							
	指導者育成及び活動の支援							
	多様性を尊重する社会づくり							
	男女共同参画の推進							
3-3 安心して暮らせる福祉サービスの充実	要保護者の保護及び自立支援							
	障がい者の暮らし支援							
	命を大切にする社会づくり							
	虐待防止対策支援							
	生活困窮者の自立支援							
	消費生活の向上							

実施施策	主要施策	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
3-4 健康で長生きするための支援	市民の主体的な健康づくりの支援							
	高齢者の生きがいづくり							
	介護予防・生活支援の充実							
	認知症（疑い）の方等への支援の充実							
3-5 医療体制の充実	救急医療の充実							
	地域完結型医療の推進							
	脳疾患・急性冠症候群及び特殊疾患の治療体制の整備							
	各種検診業務の充実による予防医療の確立							
	災害時医療の確保							
	医療従事者の業務効率化と負担軽減及び患者満足度の向上							
4-1 安全で安心な都市整備	道路施設の整備・長寿命化							
	河川施設の整備等							
	地域情報基盤の整備							
	安全・安心で快適な市営住宅の提供							
4-2 災害に強いまちづくり	防災・減災対策の充実							
	耐震化の促進							
	災害に強いライフラインの確保							
4-3 公共交通体系の充実	地域公共交通の維持・確保充実							
4-4 安全な水の安定した供給と適正な污水处理	上下水道事業の健全経営							
	計画的な老朽管の更新							

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									

実施施策	主要施策	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
5-1 人びとが集う魅力あるまちづくり	移住定住の促進							
	阿蘇市の魅力発信							
	企業誘致の推進							
	多文化共生の推進							
5-2 阿蘇の自然と景観の保全	地下水保全の推進と情報発信							
	自然環境保全活動の推進							
	景観維持に向けた農地・草原保全支援							
5-3 循環型社会の構築	ごみ処理の推進及び循環型社会の形成							
6-1 効率的で利便性の高い市民サービス	行政区への側面的な支援							
	行政業務の効率化の推進							
	広報広聴活動の推進							
6-2 持続可能な財政運営	財政基盤の強化							
	入札・契約事務の適正化							
	公共施設マネジメント							
	職員の能力開発・育成及び適正な人員配置							
	地籍調査の推進							

8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースhipで目標を達成しよう
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									
									